

3月
定例会

2/22 ~ 3/20

平成30年度鴻巣市一般会計予算決まる 未来に向けた基盤づくりの1年



3月定例会は、2月22日から3月20日までの27日間の会期で開かれ、市長から提出された「平成30年度鴻巣市一般会計予算」など58件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり同意・可決しました。

最終日に市長提出議案として2議案、議員提出議案として4議案が上程され、そのうち4議案は原案のとおり同意・可決しましたが、2議案は否決となりました。請願1件は、不採択となりました。

平成30年度 会計別当初予算額 (単位：千円)

一般会計		36,900,000
特別会計	国民健康保険事業	12,423,000
	介護保険	7,988,000
	北新宿第二土地区画整理事業	500,000
	広田中央特定土地区画整理事業	135,000
	後期高齢者医療	1,332,000
	農業集落排水事業	237,000
	計	22,615,000
公営企業会計	水道事業会計	3,230,355
	下水道事業会計	4,387,275
	計	7,617,630
合計	67,132,630	

平成30年度一般会計予算の概要
平成30年度一般会計予算の総額は、369億円となり、前年度との比較では、額として17億5000万円の増、率にして5%の増となります。

歳入は、市民税、軽自動車税が回復基調にある経済状況から増を、固定資産税・都市計画税は、評価替えの影響を踏まえて減を見込み、地方交付税は、前年度普通交付税の実績などから、前年同額を見込んでいます。

歳出は、障害福祉サービス受給者数の増加等に伴う障害者自立支援給付事業、社会資本整備総合交付金を活用した鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業、建設工事着手に伴う吹上北側生涯学習施設建設事業の増を見込んでいます。

主な事業に注目

(単位：千円)

安全・安心に暮らせるまちづくり

- ・蛍光灯型LED導入事業 6,581
- ・可燃不燃ごみ収集運搬事業【一部新規】 254,885
- ・鴻巣行田北本環境資源組合負担金 171,099
- ・公共交通維持事業【一部新規】 120,456

いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり

- ・健康ウォーキングポイント事業【一部新規】 2,185
- ・健康体力づくり推進事業【一部新規】 8,075
- ・健康まつり開催事業【一部新規】 844
- ・こうのとりに産祝金支給事業【新規】 20,900
- ・こうのとりに助成金事業【一部新規】 7,625

子どもから大人まで、生涯にわたる学びと文化が根付くまちづくり

- ・コミュニティスクール推進事業【新規】 390
- ・外国語教育推進事業【一部新規】 51,708
- ・中学校給食センター整備事業【新規】 59,400
- ・吹上北側生涯学習施設建設事業 289,614

住みたい・住んでよかったと思える快適なまちづくり

- ・定住促進事業【一部新規】 14,208
- ・市道A-1004号線整備事業 68,720
- ・駅施設等維持管理事業(吹上駅自由通路) 115,813
- ・鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業 1,087,535
- ・既設公園施設・遊具改修事業【一部新規】 175,000

賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり

- ・商店街活性化推進事業【新規】 1,500
- ・商工会補助事業【一部新規】 36,273
- ・農地耕作条件改善事業【新規】 5,363
- ・新規就農総合支援事業 3,000

市民協働による、一人一人が主役のまちづくり

- ・集会所建設等補助事業 11,900
- ・シティプロモーション推進事業 2,712
- ・中央公民館エリア再編研究事業【新規】 87
- ・第2体育館解体事業【新規】 80,095

当初予算 映画館システム更新業務委託

問 映画館システム更新業務委託は、どのようなシステムの入れかえか。
答 シネマフォンシステム（音声認識映画情報提供システム）の入れかえとなり、映画会社で導入しているもので、電話で上映案内等の知りたい情報の番号を押すと、自動的に音声案内をするものです。

当初予算 保育所費庶務事業

問 ひなちゃん子育て応援基金を使い、平成30年度は何を予定しているのか。
答 29年度は生出家保育所と登戸保育所に午睡ベッドを30台ずつ購入しましたが、30年度は生出家保育所と登戸保育所の全員が利用できるように170台購入する予定です。

当初予算 こどものとり出産祝金支給事業

問 内容は。また、予算を算出するのに当たり、第1子、第2子、第3子以降の人数の見込みは。
答 第1子及び第



2子は2万円、第3子以降は5万円の鴻巣市商工会お買い物券を支給します。過去の出生数を参考に新たな出生数は850人、そのうち第1子及び第2子は720人、第3子以降を130人と見込みました。

当初予算 コミュニティ・スクール推進事業

問 従来の学校評議員制度にかわる制度だが、どのような内容か。
答 学校評議員制度は、校長の求めに応じ、個々の意見を述べるということ、何かを決定するところではありませんが、本事業は校長の方針について運営協議会が議論し、審議・承認します。構成メンバーは、評議員と大きくは変わりがないと考えますが、教育委員会が任命します。

問 今回はモデル校として2校で実施することだが、どこか。
答 学校の規模や、校長の制度に対する理解、地域と学校の連携状況を見ながら検討していきます。

当初予算 高齢者運転免許自主返納サポート事業

問 今までの実績は。また、返納後1年間はフラワー号が無料で利用できるが、その後のフォローはどのよ

うに考えているのか。

答 平成30年1月現在、運転免許の返納者は58人になります。運転免許返納後に、申請により運転経歴証明書を取得できます。この証明書の提示により、デマンド交通の利用者負担額を1割引きます。

当初予算 公共交通維持事業のデマンド交通実証運行

問 平成30年度は、デマンド交通の実証運行を実施する予定だが、コミュニティバスの運営及びデマンド交通の実証運行に要する経費として約1億2000万円の予算が組まれている。今後、利用者の増加が見込まれる中、市としての程度までの支出を許容するのか。
答 鴻巣市コミュニティバス運営補助金については、前年度と同額で予算を計上しました。また、デマンド交通実証運行補助金については、先進地であるふじみ野市及び東松山市の事例を参考に予算を計上しました。6月から3月までの9カ月間実証運行の中で、検証結果を踏まえて、31年度以降の予算を計上したいと考えています。

当初予算 ふるさと納税促進事業

問 ふるさと納税による魅力ある返礼品の工夫は。
答 返礼品は本市の魅力をPRできる効果があると考えています。今回体験型のふるさと納税として、いちご狩りを開始しました。本市を訪れ、本市の魅力を実感できるよう、アイデアを出しながら進めていきます。

補正予算 道路や橋梁の整備に係る補助金

問 道路や橋梁の整備などにおいては、国の補助金として社会資本整備総合交付金がある。今回、国からの補助内示額が少なかったため、幾つかの事業で減額補正をしているが、希望額に対してどの程度の割合で内示が出たのか。
答 橋梁の点検及び修繕等については、国の重点事業に位置づけられているので、全体で8割程度の内示が出ています。一方、市町村道の拡幅など通常の工事に係る事業については、非常に厳しく全体で2〜3割程度の内示となっています。

補正予算 みどりの校庭推進事業

問平成29年度に実施した北小学校の内容は。また、今後市内の小学校の芝生化を順次、進めていくのか。

答最近の実施校では概ね40%から50%の芝生化をしており、北小学校は校庭の54.4%を芝生化にしました。芝生化した学校からは児童が積極的に校庭に出ていく様子が見られる等の報告を受けています。運動意欲増進のためにも、県の補助金を活用し、今後も計画的に進めていきたいと考えています。

問学校によって芝刈業務委託の金額が異なるが、予算の根拠は。

答毎年5月1日から10月31日の間、各学校のボランティア団体と契約をしています。業務内容は、芝刈り、散水、施肥、芝の処分等。芝刈り及び散水については20回分、施肥については6回分を委託料として計上しています。



条例の一部改正 高校生等15歳以上18歳 まで入院費の助成

問支給対象者は。

答高校生等で婚姻している者及び就職し、保護者の扶養でない者を除くこととなっています。

問通院は対象とせず、入院に係る医療費のみを対象とした理由は。

答現在実施している多子世帯の高校生等の入院1件当たりの助成額は平均4万円となっています。子育て世帯にとって大きな負担となることから、多子世帯以外にも支援する必要があると考え、助成するものであります。

条例の一部改正 児童クラブ設置の今後 の方向

問現在、自治体が施設をつくり運営をする方式、自治体が施設をつくり民間が運営する方式、民間が施設をつくり運営をする方式があるが、今後どのような方向を考えているのか。

答現状での運営が困難になった場



合、原則学校内の余裕教室を利用して運営します。学校内の対応が困難な場合、ほかの公共施設や、民間活用などで対応します。

条例の一部改正 馬室地区にある愛里巢

問愛里巢は、今まで地域の人に利用され、第2体育館の指定管理者が管理をしていたが、第2体育館の廃止に伴い管理方法が変わることだが、どのような管理となるのか。

答平日は、給食センターに勤務している職員が開錠をして、午後から臨時職員が勤務します。土日や祝日は、給食センターが休館のため、9時から17時までの勤務になります。平成30年度の利用状況を見て、管理形態を検討していきます。また、今まで火曜日が休館でしたが、利用できるようにします。

問利用時間が9時から17時までとなっているが、5月のこのす花まつり開催時、早朝や夕方の来場者に対して、何か対応を考えているのか。

答このす花まつりの時期は、観光戦略課が愛里巢を利用しているが、連携しながら対応していきます。

条例の一部改正 市営住宅に住む認知症 患者の収入申告

問市営住宅入居者で認知症である者等が、収入の申告をすることが困難な場合、職員が必要な書類の閲覧をすることにより、家賃を定めることができることだが、認知症である者等とは、どのような人が対象となるのか。

答認知症患者のほか、知的障がい者、精神障がい者も対象になります。また、申告時期に交通事故等で入院し申告ができない人も、診断書を提出することで申告が不要になります。

条例の一部改正 カントリーエレベーターの 土地売却

問郷地区内のカントリーエレベーター敷地86633.9㎡について、さいたま農業協同組合より財産の売り払いを受けた旨の申し出があったことから、7653万8040円で売却することだが、売却に至った経緯は。

答今まで鴻巣市農業協同組合に無償で貸していましたが、契約期間が切れることから更新の話をしてきました。途中農協が合併し、さいたま

農業協同組合になりましたが、合併前の鴻巣市農業協同組合に「今回の契約は無償ではない。」という話をしていた、さいたま農業協同組合もそのことを引き継いだ状態で、契約更新の話をするため来庁したと思います。契約更新の話を始めました時に、さいたま農業協同組合側から、「土地を売ってくれることもあるのですか」という話があり、市側も「買ってくれるなら、その方向で進めます。」と返事をし、このように進めてきました。

**議員提出議案第1号
費用弁償の金額の変更**

問 県内の多くの自治体が、費用弁償を支給していない中、報酬等審議会の付帯意見でもあるように廃止していく考えは。

答 将来的には廃止する方向で検討していきますが、段階的に削減する考えのもと、激変緩和措置で1000円削減して2000円としました。廃止については、平成31年4月の市議会議員選挙後の、第18期の市議会において、検討していく事項と考えています。

このす議会だより第50号発行に寄せて

このす議会だより編集委員長

このす議会だよりは、議会の活動を市民の皆様幅広く知ってもらいたいとの思いで、平成17年10月の1市2町の合併による新鴻巣市の誕生後、臨時号を経て、平成18年2月に創刊号を発行しました。これまで編集委員会で工夫を重ねながら、年4回ペースで発行し、この度第50号を迎えることになりました。これからも、審議の内容等を分かりやすく伝えていけるように努めてまいります。



主な軌跡

平成17年	新鴻巣市誕生
平成18年	このす議会だより創刊号発行、鴻巣市議会議員政治倫理条例制定（議員提出議案）
平成19年	花と音楽の館 かわさと「花久の里」オープン、鴻巣駅東口駅前広場及びエルミこのすショッピングモールオープン
平成20年	荒川河川敷が「川幅日本一」として認定
平成21年	吹上駅北口駅前広場供用開始、北鴻巣駅西口駅前広場及び駅通り線供用開始
平成22年	鴻巣中央図書館がエルミこのすアネックスに移転オープン
平成23年	東日本大震災、第1回このす花まつり開催
平成24年	産業観光館「ひなの里」オープン、自治基本条例制定
平成25年	新吹上支所新築移転、市民活動センターオープン、三谷橋大間線開通、このすシネマオープン、吹上図書館新築移転、「開かれた議会運営」の一環としてインターネットによる議会配信を開始、鴻巣市歯科口腔保健の推進に関する条例制定（議員提出議案）
平成26年	かわさと館（川里生涯学習センター・川里児童センター・川里支所）オープン、このす花火大会「正四尺玉」ギネス世界記録認定、コスモスふきあげ館（吹上生涯学習センター・吹上図書館・吹上支所）オープン、鴻巣市民のいのちと心を守る自殺対策条例制定（委員会提出議案）
平成27年	鴻巣市役所新館オープン、渋井橋開通（架け替え）、鴻巣市役所本庁舎改修工事（耐震補強等）により議場が川里農業研修センターへ移転
平成28年	議場に国旗掲揚、鴻巣の花を見て育てて贈ってふれあう花のある生活促進条例制定（委員会提出議案）
平成29年	鴻巣市役所本校舎改修工事（耐震補強等）が完了し、議場が鴻巣市役所本庁舎5階へ移転
平成30年	このす議会だより第50号発行

人口の推移

平成17年 10月1日	平成19年 4月1日	平成23年 4月1日	平成27年 4月1日	平成30年 4月1日
120,802人	120,717人	120,841人	119,194人	118,974人

議員定数の推移

平成17年10月1日～ 19年4月30日	平成19年5月1日～ 23年4月30日	平成23年5月1日～ 現在
55人	30人	26人

【議会だより編集委員会】

委員長	金澤孝太郎			
副委員長	阿部 慎也			
委員	金子 雄一	永沼 博昭		
	川崎 葉子	芝崎 和好		
	坂本 国広	加藤 英樹		
	羽鳥 健	頓所 澄江		
	野本 恵司	矢島 洋文		